

# みおき

Mizuki Dayori

# 便り

特別地方公共団体  
神奈川県内広域水道企業団 広報誌

NO. 29

2018.8



シリーズ 企業団の歴史を知ろう①  
なぜつくられたの？  
三保ダム





# シリーズ 企業団の歴史を知ろう① なぜつくられたの? 三保ダム

河内川

世附川

三保ダムができる前(上)と後(下)を、空から見た写真です。神奈川県内の「3つめの水がめ(※1)」として、建設地に選ばれた山北町の神尾田地区。3本の川が合流していることがよくわかります(※2)。1974年5月から1978年7月まで4年2カ月がかりでつくられました。1979年から水道水としての利用が始まりました。



横浜市立鶴ヶ峯小学校  
4年1組  
山田 明依さん

※1：相模ダム(相模湖)、城山ダム(津久井湖)に次いでつくられました。  
※2：世附川、玄倉川、河内川が合流し、横浜市の1/3位の広い地域から流れ出た水が、3つの川によって集まってきます。

今号から新シリーズ「企業団の歴史を知ろう」をスタートします。第1回目は、神奈川県の水道の歴史の大きな転機であり、神奈川県内広域水道企業団(以下：企業団)の設立のきっかけともなった山北町の三保ダム(丹沢湖)を訪ね、その誕生の背景や目的を訪ねてきました。参加してくれたのは横浜市立鶴ヶ峯小学校4年生の山田明依さんと駒井菜帆さんとお母さんです。

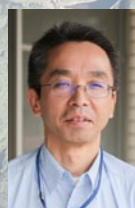


三保ダムの建設で誕生したのが丹沢湖で、6,490立方メートル(東京ドーム約52杯分)の水を貯えることができます。ダムからは常に必要量の水が下流へ流されていて、約28km下流の飯泉取水堰(小田原市)で取水されます。1日最大156万㎡の水が、浄水場に送られ、水道水となって、県央地域(厚木、伊勢原など)や横浜、川崎、横須賀に送られ私たちのもとまで届けられています。



横浜市立鶴ヶ峯小学校  
4年3組  
駒井 菜帆さん

ここが  
三保ダムです



今回の先生  
神奈川県企業団  
酒匂川水系ダム管理事務所  
ダム運用部長  
並木 俊さん



## 《水道企業団ニュース》

### みずきフェスタ2018開催

水道週間(6月1日～7日)にあわせて6月2日(土)に社家取水管理事務所(海老名市)で「みずきフェスタ2018」を開催しました。来年度に当企業団が設立50周年を迎えることから、今年のみずきフェスタではご来場いただいた方に「50周年記念ロゴマーク」を決める投票をしていただき、ステージイベントで結果発表をするなど例年以上に盛り上がる特別なイベントとなりました。

来年は50周年記念として、より特別なイベントも考えています。是非ご来場してください!



### 全国水道企業団協議会 全国総会

5月24日(木)、全国水道企業団協議会第62回総会が、当企業団が開催地となり、神奈川県箱根町の「湯本富士屋ホテル」で開催されました。

全国の水道企業団職員や関係団

体、来賓ら約170名が出席し、昨年度決算や今年度予算、会員提出問題(国等への財政的支援や各種制度の改善に向けた要望)などが審議されました。

25日(金)には、当企業団と構成団体における水道水源の水質検査や水質事故の対応を統合して効率的に行う広域水質管理センターのほか、社家取水管理事務所(いずれも海老名市)を視察し、当企業団が実施する事業について説明を行いました。



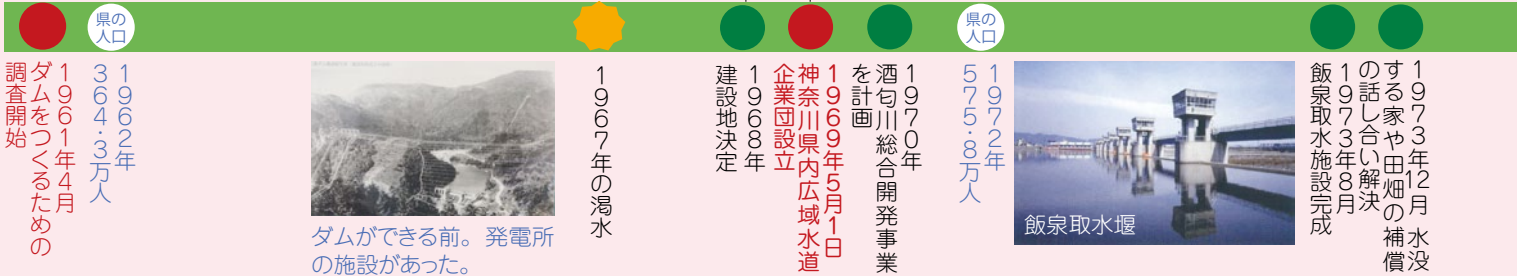


# 三保ダムができるまで



左から、建設地決定(1968年7月)、企業団の設立(1969年5月)を伝える新聞。

起工式(1974年5月)を伝える新聞と工事の様子。ダムの盛り立て(中)工事で大活躍した32トントラック。タイヤの直径が1.9mもあり、1度に13㎡の盛り立て材を運ぶことができた(右)(1976年9月)。



## 三保ダムはなぜつくられたんですか？

**並木** 1950年代後半から1970年頃にかけては、高度経済成長期と呼ばれ、神奈川県でも人口が急激に増えていました。相模ダム(相模湖)と城山ダム(津久井湖)だけでは水不足が予想され、新しい水源として、酒匂川の支川、河内川に三保ダムがつけられました。1961年から調査を開始して、工事が始まったのが1974年、完成したのは1978年です。

## ずいぶん時間がかかったんですね？

**並木** 安全なダムをつくるためには、調査や設計にも時間がかかりました。また、丹沢湖の広さ(2.18km<sup>2</sup>)は横浜のみなとみらい21地区(1.86km<sup>2</sup>)より広く、それまで223世帯の方たちが住んでいました。その方たちに移転していただく必要があったのです。納得して移転していただけるよう時間をかけて話し合いをしました。

## つくったのは誰ですか？

**並木** 三保ダムは、県(治水)、企業団(水道)、東京発電㈱が共同で事業を進めました。それまで水道事業は、県、横浜市、川崎市、横須賀市の各水道事業者がそれぞれ行っていたが、事業を効率よく進めるため、1969年に県と3市は企業団を設立しました。調査から工事、現在の管理については、城山ダムと同じように神奈川県企業庁が行っています。

## ダムってどんな役割があるんですか？

**並木** 三保ダムには、3つの役割があります。  
まず、洪水調節(治水)の役割です。雨の多い6/15～10/15の間、湖の水位を下げて空き容量をつくり、大雨で増水した時には、下流へ流す水量を減らす調整をしています。次に、水道用水を確保する役割です。水道用水は下流の飯泉取水堰で取水されますので、川が枯れないように水量を調整しながら、流しています。三保ダムは、県内で使う水道水の約3割の水源となっています。最後に、発電の役割です。常に下流へ流している水を使って東京発電㈱田ノ入発電所では、最大7,400kWの発電を行っています。

## 参加した人たちの感想



三保ダムの大きさと高さにびっくり！  
ダムの中にある点検用のトンネルなど、ふだん入れないところも見ることができて、貴重な体験をすることができました。とても勉強になった1日でした。



以前見学した浄水場と合わせ、その上流のダムを見ることができ、家庭に水道水が届くまでの全体を学びました。古くから住み慣れた土地を離れた地元の方たちの協力があって、水道水が飲めていることに感謝したい気持ちです。

# 企業団 NOW ～安全・安心な水道用水の安定的な供給に向けて～

## 新人職員研修を実施

今年度は、男女あわせて7名が仲間となりました。4月2日～13日にかけて、新規採用職員研修を行い、県民・市民の生活を支える水道のプロとして働けるよう、水道の歴史や水道事業が直面している問題など職種を問わない講座を学びました。当企業団では、経験年数や職種にあわせた各種研修プログラムを用意しており、人材育成に積極的に取り組んでいます。



## 大井川広域水道企業団と合同訓練

静岡県大井川広域水道企業団と6月20日～22日にかけて、合同訓練を実施しました。大井川広域水道企業団とは、平成9年9月に災害時における相互応援協定を締結しており、平成26年4月に相互応援実行計画書を策定し、応援についての具体的行動を取り決めています。今回、応援の実効性を高めるため、実行計画書に基づき、静岡県大井川広域水道企業団が被災した想定で、当企業団の職員を現地に派遣し、応急給水などの訓練を合同で実施しました。



## 中学校職業体験

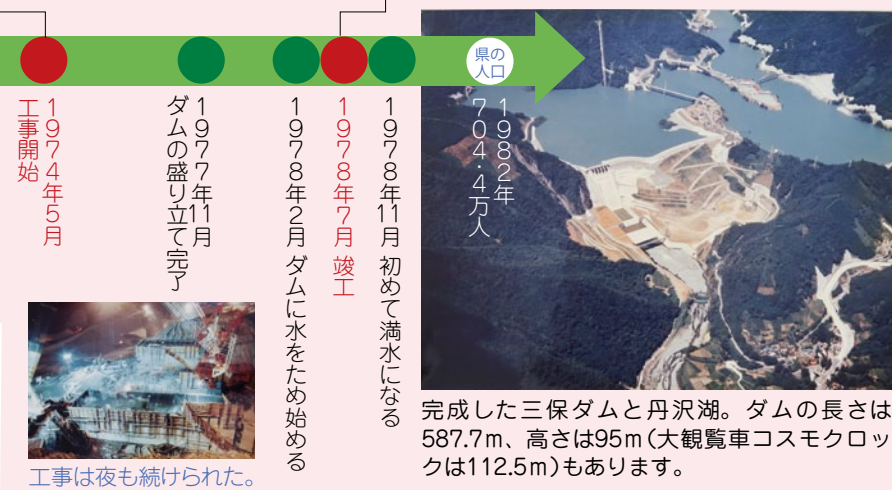
6月28日に横浜市立原中学校の職業体験が行われました。生徒さんたちは、社水取水管理事務所で管理室でのモニター操作や除塵機の操作、広域水質管理センターで水質検査、綾瀬浄水場で残塩計の点検などの業務を体験しました。普段使っている水道水が、どのような過程を経てみなさんの家庭に届いているのかを知ってもらえたのではないのでしょうか。今回体験してくれた生徒さんたちが将来、水道の仕事に携わってくれるとうれしいですね。







洪水吐ゲートの建設(1976年10月)。放流開始(1978年3月)を伝える新聞(左)。竣工式(1978年7月)(右)。



## ダムの仕事を見学



システム管理室。上流や下流の水位や水量も監視し、常に流している水の量を調整しています。



下流に常に水を流している取水塔(左)。流れ込んできた流木などを集める集積船。



洪水吐ゲートの管理橋(左)やダム内部の点検用のトンネル(右)では、日常的な点検や地震時の臨時点検が行われながら、安全なダムの状態が保たれています。



案内していただいた井上基仁さん(右)



三保の家

丹沢湖畔の「丹沢湖記念館」では、三保ダムの歴史についての資料を展示しています。隣接して、ダム建設時に水没した家の1軒で、江戸末期に建てられた養蚕農家「三保の家」が復元されており、昔の暮らしなどを勉強しました。



5門ある洪水吐ゲート。大雨によって水量が増えた時には、ここから放流します。

## 〈シリーズ〉 水源のまち・流域のまち

### Vol.4 足柄上郡 大井町

大井町は神奈川県西部、足柄平野の東に位置します。町の西端を酒匂川が流れ、町のどこからでも富士山を望めるという、風光明媚な土地です。人口およそ1万7千人、面積は14.38km<sup>2</sup>です。

かつて、この一帯は「大井の庄」と呼ばれていました。鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」や、江戸時代に編纂された「新編相模國風土記稿」にもそのことが記されています。この「大井の庄」が現在の町名の由来になりました。

主な産業は農業で、町の面積の約15.5%を耕地が占め、世帯数の約7.2%が農家です(2015農林業センサスより)。

一方、東京から70km、横浜から50kmと近く、東名高速道路の大井松田インターチェンジが町内にある他、小田急小田原線やJR東

海道線とJR御殿場線により接続するなど交通便利性が高いため、企業の進出も見られます。

そんな大井町の名を一躍全国に広めたのが「ひょうたん」です。昭和45年、JR御殿場線上大井駅の構内に、駅員が西日除けにひょうたんを植えたのがきっかけとなり、昭和56年の時刻表の表紙を飾るなど上大井駅は『ひょうたん駅』として有名になりました。以来、ひょうたんをシンボルとしてまちおこしの気運が高まり、毎年8月の第1土曜日に行われる「大井よさこいひょうたん祭」は町一番の大きなお祭りとして賑わい、ひょうたんにちなんだ特産品やグルメも数多く誕生しています。

一方、県が進める「未病」施策にも積極的に取り組んでいます。本年春には県西地域の未病施策の拠点となる「BIOTOPIA(ビオトピア)」が第1期オープンを迎えるなど、県、地元企業と連携して地域の活性化に努めています。

自然豊かな田園都市として発展してきた大井町。そのシンボルでもあり、県民の大切な水源でもある酒匂川の水質保全と地域の生

活環境の改善を図ることを目的とした「酒匂川流域下水道」の事業に参画しており、神奈川県内広域水道企業団もその事業に負担金を拠出しています。昨年から、企業団企業長、県、横浜、川崎、横須賀の水道事業管理者と流域の首長との意見交流会も始まり、水源地域と水道利用地域間の交流も活発化しています。

「水源のまち・流域のまち」の一つとしてますますその役割が大きくなる大井町、「夢おい未来」の実現にむけたまちづくりに、町民はもちろん、内外からの期待が高まっています。



第32回大井よさこいひょうたん祭(写真提供：大井町)





## 神奈川県企業庁

**水道局の名をかたった  
不審者にご注意ください!!**

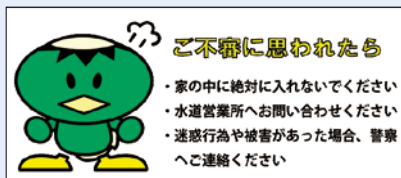
県営水道キャラクター  
カッピー

県営水道(水道局)の職員や委託業者をかたり、家の中や床下に入

って調査しようとする、不審な業者の訪問が頻発しています。中には、家の中に入り込まれ、現金盗難の被害も発生しています。

県営水道では、お客様からの問い合わせがない限り、お客さまの宅内の水道管や水回りの点検を行うことはありません。また、公道からお客さまの水道メータまでの漏水調査を委託していますが、水道メータから先の漏水調査は行っていませんし、調査費用をお客さまに請求することはありません。

不審に思われたら、県営水道の職員は神奈川県県営上水道係員証を、委託業者の社員は業務委託従事者証明書を携帯していますので、提示を求めて確認してください。



不審者にご注意ください

悪質な業者や詐欺にご注意ください

検索



## 横浜市水道局

**横浜市オフィシャルウォーター  
「はまっ子どうし The Water  
ピンクリボンボトル」販売中**

横浜市水道局キャラクター  
はまビョン

毎年、9月は「がん征圧月間」、そして10月は、「ピンクリボン月間」です。横浜市水道局は、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンかながわ」との協働により「はまっ子どうし The Water ピンクリボンボトル」を販売しています。

日本では、乳がんにかかる女性が年々増えています。水が身近にあるように、乳がん検診も身近な存在とじてもらえるよう、ピンク色のかわいらしいボトルに詰めました。ピンクリボンボトルを手に、乳がんについて少し考えてみませんか。

### ■「はまっ子どうし The Water」

横浜市の水源の一つ、山梨県道志川に注ぐ清流水をボトルに詰めた飲料水。

ご注文などの詳細は、

横浜市 ピンクリボンボトル

検索



## 横須賀市上下水道局

**好評です! 出前授業～水道の講話と実験をお届けしています～**

横須賀上下水道  
イメージキャラクター  
アクアン

横須賀市上下水道局では、市内小学4年生を対象に出前授業を行っています。

出前授業とは、職員が小学校にお伺いしてクイズなどを織り交ぜた講話や川の水をきれいにする実験を行い、子供たちに水道の役割や仕組みについて学んでもらうものです。



出前授業の様子

小学校の総合的な学習や社会科の授業と連携して行うことで、次世代を担う子供たちに水循環の大切さや水環境保全の必要性など、日常生活に欠かせない水道に対する理解をより深めてもらうことを目的としています。

子供たちは普段と違う授業と実験に興味津々。いつも「へー!」や「なるほど!」の声が聞こえてきます。

横須賀 上下水

検索



## 川崎市上下水道局

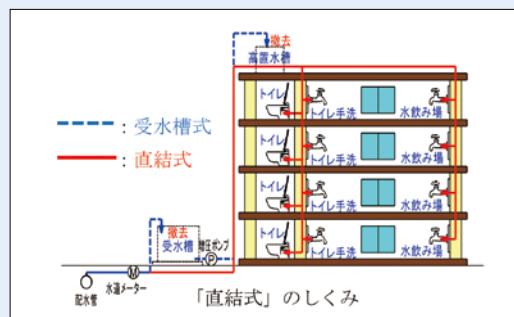
**市立小中学校の給水方式を  
「直結式」にする事業を進めています**

川崎市上下水道局  
キャラクター  
ウォーターン

市立小中学校の水道を「受水槽式」から「直結式」に切り替える「学校直結給水化事業」を、教育委員会と共同で推進しています。

「直結式」にすることで、配水管から蛇口まで直接水が届くので、子どもたちはいつでも新鮮で冷たい水道水を飲むことができます。この取組を通じて、子どもたちが蛇口から直接水道水を飲む機会を増やし、「水道水を飲む文化」を継承していきたいと考えています。

また、「直結式」の水道は、配水管の水圧を有効利用できます。ポンプ設備などの消費電力が削減され、環境負荷の低減につながります。



川崎市 学校直結給水化事業

検索

# みずきPLAZA

## 平成30年度職員採用試験

生活に欠かせない「水」。あなたも「水道のプロ」として活躍してみませんか。

試験の種類など

試験の種類	試験の区分	採用予定人員	受験資格
I 種	行政	若干名	昭和63年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人
	土木	若干名	
	建築	若干名	
	設備電気機械	若干名	
	水質化学生物	若干名	

受験申込受付期間 平成30年9月28日(金)まで

第1次試験日 平成30年10月28日(日)

試験会場 専修大学 生田キャンパス7号館

## 受験案内・申込書の入手方法

- インターネット配布：申込書をダウンロードできます。
- 郵便請求：〒241-8525 横浜市旭区矢指町1194 神奈川県内広域水道企業団 総務部総務課人事・労務係 宛 ※140円切手を貼った宛先(住所・氏名)明記の返信用封筒(角2号)を必ず同封してください。
- 直接配布：当企業団(三ツ境庁舎)にて配布しています。

お問い合わせ先：総務課 人事・労務係 ☎045-363-3894

詳細は当企業団ホームページをご覧ください。



## 安全な水を、これから

蛇口をひねれば当然のように水が出てくる生活。しかし、それまでの過程が大変な作業ということが、「みずき便り」でわかりました。安全な水をこれからもたゆまぬ努力で提供してください。 K.K(小田原市)

## 普段から川を汚さないように

「臭気検査」は機器でなく、人間の鼻で行う。検査員の方は、大変なお仕事ですね。普段から川を汚さないように気をつけたいです。自宅近くの大岡川はコイ、サギ、カモメ、カワセミなど、自然がいっぱいです。 K.U(横浜市)

## 来年は参加！みずきフェスタ

相模大堰の事、初めてくわしく知りました。来年のみずきフェスタは参加してみます。ありがとうございました。 M.O(厚木市)

## プレゼントコーナー



「みずき便り」読者の中から、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみ五湖のブレンド水」340ml缶1ケース(24本入)をプレゼントします。ご希望の方は、Iガキ、FAXまたはメールで、住所/氏名/電話番号/年齢/職業を明記の上、下記までお寄せください。その際、今号の内容へのご意見・ご感想も忘れずをお願いいたします。  
応募締め切り：平成30年10月31日(水)必着 ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます  
応募先：〒231-8445 横浜市中区太田町2-23 神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみ五湖のブレンド水プレゼント」係 FAX.045-227-0765 kokoku@kanagawa-np.co.jp

●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0737 までお願いいたします。



《編集後記》今号から、新たに「企業団の歴史を知ろうシリーズ」がスタートしました。来年設立50周年を迎える企業団が設立された経緯や背景を皆さんにぜひ知っていただきたいです。

今回取り上げた三保ダムを含めた酒匂川総合開発事業は企業団を設立するきっかけとなった事業です。神奈川県の人口は約910万人(平成30年7月現在)。県民・市民の皆様が安定して水道水を供給し続けられているのは50年以上昔の方々の尽力と水源地域の方々の協力があってこそです。

三保地域では、豊かな自然と触れあい、歴史を学び、さらには温泉で疲れを癒すこともできます。これをきっかけに三保地域に足を運んでみてはいかがでしょうか。(総務・広報係)

## 神奈川県内広域水道企業団とは

三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。

